

民主化闘争情報

No. 884
2013年10月2日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

JR北海道の一連の事故・不祥事を受け、マスコミ各紙の紙面には各界・各層、から様々な意見が出されているが、その背後要因としての組織、労働組合に関する報道が頻繁に行われている。

国民・道民の声に真摯に耳を傾け 健全な労使関係をつくり、 安全最優先のJR北海道をつくろう！

「北鉄労組合員は人事で優遇」■JR北海道の関係者によると、最大の規模を誇るJR北海道労組（北鉄労）の組合員は人事で優遇されていた。「能力や技能よりどこの組合に所属するかで人事が左右され、現場でのコミュニケーションが上手くいかないという事態も生じていた」【9月24日放送テレビ朝日・報道ステーション】

「経営側と労働組合との間に溝がある」■国土交通省特別監査関係者は「JR北海道の弱点は、組合をコントロールしてこなかったこと」JR北海道の幹部は「組合を気にしている。足を引っ張ろうとする」としている。関係者の証言からは経営側と労働組合との間に溝があることが伺える【9月25日放送FNN・スーパーニュース】

「経営陣が如何ともし難い恐ろしいことがあるのか」■JR北海道社員「(社内でも)仲良くやろうよという気持ちが薄い。〇〇の結婚式には出るなどか、酒を一緒に飲むなどか、そんなことをやっているようだ」コメンテーターA氏「保守を担当する人の人数は知らないが、伝わらないのであればそもそも組織の形態が間違っている。人間関係の中に断裂が起こっていて、実は線路の修繕がされていないからではなく、人間関係の断裂が修繕されていないから、伝えられるべき技術が伝わらず、経営側に現状を伝えるということが出来ておらず、人間の問題がここにきてはっきり見えてきたのではないか」コメンテーターB氏「人と人との断裂が世代間だけでなく、セクション毎や団体毎にあって、前に経営者の方が亡くなることがあったが、トップがそう思っても如何ともし難い恐ろしいことがあるのかとってしまう」【9月26日放送テレビ朝日モーニングバード】

「自浄作用は期待できない」■鉄道関係者は「一部の労働組合がサボタージュをしたり、組合間の対立が影響している可能性があるのでは」同社は旧国鉄時代、複数の組合が激しい闘争を展開したこともあった。ある鉄道関係者は「自浄作用は期待できない」【9月26日東京新聞】

JR総連・北鉄労組合員の皆さんへ
「平和共存否定」運動の旗を降ろし、
安全第一の職場を作ろう！！